

会社の概要

商 号	株式会社はるやまホールディングス	
設 立	1974年11月6日	
資 本 金	39億9,136万8,000円	
本 社	岡山市北区表町一丁目2番3号	
主 な 事 業 内 容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸借	
役 員	代表取締役社長執行役員	治 山 正 史
	取締役常務執行役員	伊 藤 卓
	取 締 役	松 田 良 成
	取 締 役	菅 谷 貴 子
	常 勤 監 査 役	佐 藤 晃 司
	監 査 役	中 川 雅 文
主 な 子 会 社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社	株式会社マンチェス
	株式会社モリワン	株式会社ミッド・インターナショナル
	株式会社ミック	田原コンサート株式会社*
	株式会社BASE	スネイルジャパン株式会社*
従 業 員 数	連結 1,460名 (単体 65名)	

株式情報

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 178,854株)
株 主 数	20,921名
大株主 (上位10名)	

株 主 名	持 株 数(株)	持株比率(%)
株 式 会 社 は る か	1,810,000	11.10
治 山 正 次	1,759,456	10.79
治 山 邦 雄	1,498,722	9.19
有限会社岩渕コーポレーション	1,324,500	8.12
株 式 会 社 四 国 銀 行	765,840	4.69
治 山 正 史	484,072	2.96
はるやま取引先持株会	408,900	2.50
はるやま社員持株会	378,085	2.31
治 山 美 智 子	358,892	2.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	356,200	2.18

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月中
配当金受領株主 確 定 日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(市場第一部)
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告とします。 公告掲載アドレス http://www.haruyama.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324(通話料無料)

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

15%割引券

+

ネクタイ または ワイシャツ
ブラウス

贈呈券 1枚進呈!

※贈呈券は税抜6,000円以下の商品が対象となります
※毎年3月31日時点の株主さまに6月末順発送いたします

株式会社はるやまホールディングス <http://www.haruyama.co.jp/>



● 所有株数に応じて15%割引券進呈!

100株～ 499株	2枚
500株～ 999株	4枚
1,000株～ 2,999株	6枚
3,000株～	10枚

HARUYAMA REPORT



第46期中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

株式会社はるやまホールディングス
(証券コード:7416)

株式会社はるやまホールディングス
イメージキャラクター 伊藤健太郎



環境にやさしい 使ってうれしい 商品づくりを推進

代表取締役社長執行役員

谷山 正史

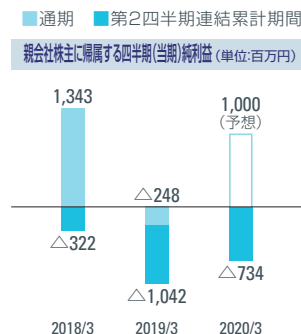
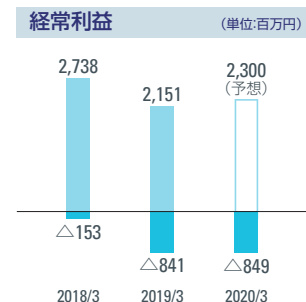
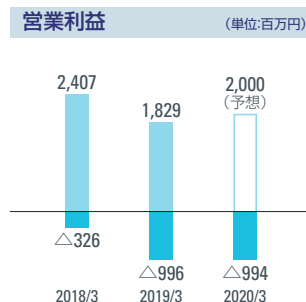
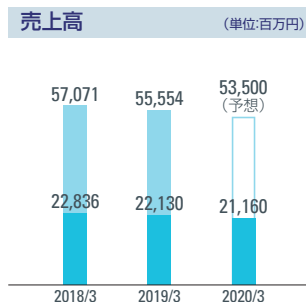
第46期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が堅調に推移するなど緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、英国のEU離脱問題や米中間の貿易摩擦問題の長期化による海外経済の不透明感などの影響により、個人消費の本格的な回復までには至っておりません。

衣料品小売業界におきましては、大雨・台風などの自然災害による影響に加え、物価の上昇や消費税率の引き上げにより節約志向が高まるなど、厳しい状況のまま推移いたしました。

このような環境のもと当社グループは、引き続き「健康」をキーワードにした差別化戦略を推進し、なかでも機能性スーツがお客様の支持を得たことなどにより、前年同期に比べ客単価が上昇いたしました。

商品面では、「ストレス対策スーツ」やファイテン株式会社と共同開発した「ファイテンシリーズ商品」、株式会社タニタとコラボレーションした



「i-Suit SUPPORTED BY TANITA(アイスーツ サポートッド バイタニタ)」などの「健康」関連商品がお客様からご好評をいただきました。さらに、最大のヒット商品である完全ノーアイロンの「アイシャツ」に再生ポリエステル100%生地を採用し、包装資材にはプラスチックを使用しない「ECO i-Shirt(エコアイシャツ)」や、ご家庭で洗える形態安定パンツ「清潔パンツ」などが注目されました。

店舗数に関しましては、グループ全体で10店舗新規出店した一方で、9店舗を閉店したこと及び株式会社BASEのレディスカジュアル販売事業の譲渡に伴い6店舗減少した結果、当第2四半期連結会計期間末の総店舗数は469店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高211億6千万円(前年同期比4.4%減)となりました。利益面では、営業損失9億9千4百万円(前年同期は営業損失9億9千6百万円)、経常損失8億4千9百万円(前年同期は経常損失8億4千1百万円)、親会社株

主に帰属する四半期純損失7億3千4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億4千2百万円)と、営業利益及び経常利益ベースでは横ばい、四半期純利益ベースでは大幅改善の結果となりました。

今後の見通しについて

今後の見通しといたしましては、「より良いものをより安く」の創業理念のもと、引き続き「健康」をキーワードにした機能性商品の品揃えの充実とお客様の声を反映した商品開発に努めるとともに、環境に配慮した取り組みを通じて地域に必要とされる店づくりを目指してまいります。

みなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

プラスチック削減と再資源化に挑戦

当社は、環境省が世界的な海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて取り組む「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加しています。



6月に軽井沢で開催された「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」の「G20イノベーション展」に、再生ポリエステル100%生地を採用し、保形用プラスチックや包装用ビニール袋を使用しない「ECO i-Shirt(エコアイシャツ)」を出展し、その革新的な技術とアイデアを紹介しました。今後もこのような環境に配慮した取り組みを推進してまいります。

「熱中症ゼロへ」プロジェクトに参加

当社は、一般財団法人日本気象協会が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトの「サマーフェスティバル2019」にオフィシャルパートナーとして出展し、暑さ対策に役立つアイテムとして「i-shirt Cool(アイシャツクール)」を紹介しました。今後もこのような商品やサービスの提供を通じて、ビジネスパーソンがoshareで快適に過ごせるよう応援してまいります。



働き方改革・女性活躍推進などの受賞・認定実績

経済産業省
「新・ダイバーシティ経営企業100選」2018年度表彰
厚生労働省
「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」2015年奨励賞
厚生労働省
「女性活躍推進法に基づく『えるぼし』」2018年認定
岡山市
「女性が輝く男女共同参画推進事業所」2018年認証
リクナビ NEXT
「GOOD ACTIONアワード」2018年度受賞
JCSI
「日本版顧客満足度指数調査
ビジネス・フォーマル部門」2018年1位

